



エースファーム

オーナー	株式会社エース
水田面積	15.5アール (約469坪)
保証量	玄米698kg
形態・品種	特別栽培コシヒカリ
ブランド	米風土「海」
Co2回収	約1550kg

生産者



今年の米作りはハブニング続きでした。田植えは強い雨風に遭い、田植え機の車輪が外れ稲刈りはあと少しで終わるところに大雨に遭い、稲がコンバインに詰まったりと印象に残る1年となりました。今年は肥料設計が良かったのか近隣の田んぼよりも少し早く収穫適期を迎え粒ひとつひとつがふっくらと美味しくそうで未熟米や被害粒が少なく、出来は良かったです。

高橋 秀紀

9-10月の作業内容

1. 落水とけた切り

落水とは排水口の仕切りを取り払い水を抜くことで、それでも水が抜けない場合は写真のようにけたを大きく掘って排水をしっかりと行ないます。タイミングが非常に重要でお米の出来に影響します。



けた切り

2. 収穫

コンバインを使って収穫します。収穫適期の見定めは非常に難しく、早いと未熟粒になり、遅いと粒が肥大し同割れしやすく品質が低下します。よって田んぼごとに適期を定め一気に刈り取ります。



コンバインによる稲刈り

3. 乾燥・籾摺り

コンバインから出した籾は乾燥機にかけます。水分調整をして保存に適した水分にし、一晩寝かせます。その後籾摺り機で籾殻や混ざっている石もはじかれ保存用「玄米」の状態となります。



コンバインから出たモミ

※9-10月の稲育成状況

悪天候が続き稲刈りは日南町全体で平均2週間後ろ倒れになり、以下のチャリティー農園も収穫延期でイベントを中止せざるをえませんでした。その後順調に育ち稲刈りも無事完了しました。



刈り取り直前の稲穂